

犬千代ちゃんが
良晴じゃない男と結婚する本。



《成人向》

いや〜まさか
本当に犬千代殿を
嫁に頂けるとは：

意を決して
信奈様に直訴した
甲斐がありました

初めて犬千代殿を
見て以来抱いていた
この恋心：

それが叶って
私は本当に幸せです

今はまだしがない
長屋暮らしですが
必ずや武功を立て

…私は…
そんな…

私はただ…
姫さ…

犬千代殿を
日の本一の姫君にして
差し上げます！

姫様の想い人を
横取りしたくないから

自分の主君が
誰よりも慕っている男を

家臣である自分が
横取りするなんて
おこがましいし

何より信奈様を
傷付けたくないから
別の男と結婚する…

別にそれでも
構いません…
むしろ犬千代殿の
忠義と優しさに
私は益々惚れました

私は必ず貴方を
幸せにします

だから言って下さい
私の妻になると

たとえ貴方が
相良殿を愛して
いようとも…

誰よりも私を
愛していると…



上辺だけで
結構ですから…

……を…

貴方を…
誰よりも…愛…して
ます…

だ…から

貴方の…妻…に…
なり…ます…



……
嬉しいよ!



犬千代…!!

あ…

んぢぢ

ん…
っ

わ…たしの唇…

私の初めての…
良晴に…

あげたかった

のに…

ぬるんっ

ぎゅっ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

んちゅ

ちゅ

ん…っ

ふ…

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ん…んっ

ん…

舌…が…
ヌルヌルって…

ん…

ちゅ

にちゅ

にちゅ

ぬ

にちゅ

ちゅ

ん…

こんなの…
知らな…

…っ!?

ooo







…いや…
それ…変…っ

逃げちや
駄目だよ

子が生まれたら
毎日吸われるん
だから

今から慣れて
おかないと…

ちゅるるる

るるるるる

や…っ

ちゅるる



子なんて…
私…そんな…

子を作って
跡取りを残さねば

信奈様に
いらぬ心配を
かけてしまう…

何を言ってるんだ
犬千代！
夫婦になるとは
そういうことだろう

だから

バツ

ビクッ

たとえ望まぬ
結婚だったとしても
子はしつかりと
作らないとね

お

か

…いや…
待って…!!

待つ必要なんか
ないくらいに
濡れてるよ

犬千代の可愛い
つるぷにまんこ♪

では早速…
いただきます♪

ちゅ

…!!

ん



犬千代はもう
初潮来たんだってね

背は低いけど
身体は立派な大人だ

信奈様も仰っていたよ
「早く犬千代の子が
見たい」と…



まだちよつと
きついかもしれない
けど…

頑張って
子作りしようね
犬千代…

犬千代…





い...や...
いや...

犬千代？

わ...たし...
やっぱり...

良晴のこと...

良晴...っ

ぐず...

ぐず...



「家臣に男を
寝取られた姫君」
という烙印を
信奈様に押しつけて

だったら信奈様から
相良殿を寝取って

相良殿と
結婚しますか？

自分は相良殿と
幸せに暮らす？



信奈様の気位の
高さはよく
ご存知のはず…

場合によっては
相良殿が切られる
かもしれません

自分に恥をかかせた
男を信奈様が生かして
おくかどうか…

…でも

ギリ…

私…は…っ



寝取る度胸もないくせに
いつまでもウジウジ
言うんじゃない！
この雌犬が！

ガレ

!!



わ…たし…
私の初めては…

しはる…

よ…

ギ…

ギ…



自分で結婚の申し出を
承諾しておきながら
別の男の名を呼ぶなんて…

よ…

よ…

ぬ…

いや…

いやあ



なんてけしからん
雌犬だ!

ず…

ず…

ず…

ず…



嫌って言うわりに
おまんこは
ヌルヌルだね

可愛いなあ



愛する男と
主君のために

好きでもない男に
処女を捧げるって
決めたんだろ？

ヤラキ

どうだい初めての
チンポの味は？



それとも
自分の挺身に
酔ってるだけ？

チガ

どちらにしる
相当な淫乱だね



もしかして
相良殿のことを
想って感じてるの？

ヤレ

こうして後ろから
ズポズポ犯されてる姿は
まさに犬だね

飼い主のために
望まぬ交尾を
させられる雌犬

でもそんな
不幸な貴方を
私は見捨てない

たくさんの
愛と精を注ぎ込んで
貴方を幸せにするよ

不幸な忠犬だ

信奈様と相良殿も
それを望んでいるに
違いないから...!!





相良殿も
幸せになるんだ!

さあ犬千代!
もつと感じて!

犬千代が気持ち良くなつて
子を孕めば孕むほど
信奈様はお喜びになり



相良殿のために
子作りするんだ!

たくさん中出しして
たくさん孕んで...

イクぞ犬千代!
このまま中に...



……っ
おまんこがぎゅぎゅぎゅ
締め付けて……っ

精液搾り
取られる……っ

はひ……っ

……あっ
は……



私が...
本当に好きな人は...

はは...おしっこ
漏らすほど
気持ち良かった?

この調子で
種付けすればすぐに
でも孕みそうだ



でも...良晴と
姫様のために...



私...頑張る...

...わん

私とたくさん
子作りしようね

雌犬
犬千代ちゃん♪

信奈様と相良殿の
ためにも

『犬千代ちゃんが良晴じゃない男と結婚する本。』

発行者：曼珠堂《月白沙耶》

発行日：2012/12/29

印刷：サンライズ様

サイト URL：<http://manjudou38.x.fc2.com/>

メールアドレス：tukisiro.manju.dou@gmail.com

※禁無断転載複写。

※ネットオークションへの出品はご遠慮下さい。

ねえ
貴方
犬は好き？



私は好きよ
小さい頃から
飼ってるから

それなりには…

え…
犬…ですか？



懐くとすごく
可愛いわよ
でも最近
私よりも男に
懐いちゃった
みたいで

見てて面白く
ないのよねえ…



だけどそんな理由で
処分するにはちよつと
勿体ないというか

優秀な犬だから
あの子の子犬も
きっと立派な忠犬に
なると思うし…

どうしよう
かなあ…

恐れながら

私はちようど
犬を飼いたいと思っ
いたところでした

無礼を承知で
申し上げますれば

是非とも信奈様の
犬を頂戴したく
存じます

盛りのついた
若い雌犬を：

デアルカ



2012/12/29

曼珠堂《月白沙耶》

<http://manjudou38.x.fc2.com/>